

令和6年度 豊川市観光振興推進委員会 議事録

1 日時 令和6年7月8日（金）10時00分～11時15分

2 会場 豊川市役所 本34会議室

3 議題

(1) 豊川市観光振興推進計画の進捗状況について

4 出席者

【観光振興推進委員】

溝口隆文 委員、小川和彦 委員、岡田 崇 委員、青山貴映 委員、
波多野千恵 委員、山本芳世 委員、加藤悦子 委員、平賀菜由美 委員、
増田孝道 委員

【事務局（産業環境部 商工観光課）】

鎌田智章次長、望月崇宏課長、佐野久美子課長補佐、滝川紘史観光係長
西山卓弥主事

5 会議の公開の可否

公開

6 傍聴者数

3名

7 会議内容

・あいさつ（産業環境部長）
（略）

・委員等紹介
（略）

・議事（1）『豊川市観光振興推進計画の推進状況について』

【委員長】

それでは、議事（1）『豊川市観光振興推進計画の推進状況について』、事務局より説明願います。

【事務局】資料1～8について説明

【委員長】それでは資料の基本方針 1 から 4 まで、ご意見を頂戴したいと思います

が、その前に資料についてご質問はよろしかったでしょうか。

【委員】資料5について、5月8月の宿泊者が増えているのは、観光協会で行っているスポーツ・文化活動等合宿支援事業によるものでしょうか。

【事務局】スポーツ・文化活動等合宿支援事業によるものだけではなく、子どもや学生が休みとなるのと秋の観光シーズンによる影響で観光客が増えています。

【委員】基本方針1の施策（1）の③のウィズコロナ時代の誘客について、こちらのアクションプランを作成した際には、どうしてもこのような表現をしないといけなかったと思うのですが、現在は状況が変わってきているので、今の状況に合わせたアクションプランを実施することはできないのかと少し気になっていますので、ご検討いただけたらと思いました。

【事務局】状況に合わせてアクションプランを見直すことを検討していきたいと思っています。

【委員】基本方針2の施策（4）の②のスポーツ・文化活動等合宿支援事業について、旅館を利用される方にご意見を伺うと、ありがたいというご意見をおっしゃっていました。施設を利用しないと補助金を申請することができず、旅館から移動したくないということで使われない団体もいらっしゃいますが、いつも利用させていただいております。ありがとうございます。

【委員】海外旅行で電車を利用してくださる旅行客の方がコロナ前と比べて増えてきていると感じているのですが、スーツケースを持ち歩いて観光している方を見かけるのでスーツケース置き場を設置していただけないか。

【事務局】名鉄の豊川稲荷駅に以前はコインロッカーがあったのですが、駅の無人化に伴い撤退してしまったのと、ロッカーに入りきらないサイズの荷物については、駅員さんが預かってくれたのですが、無人化に伴い預かることができなくなってしまいました。

【委員】この件については、商店街の方にも相談しておりまして、荷物の預かり場所がなくても店舗で預かることができませんかと提案しています。

【委員】基本方針1の施策（1）において、未実施となっている民間活力を利用した新たな施設利用方法の検討ということが、なかなか手がつかなかったということなんですけど、具体的にはどのような内容が該当するのでしょうか。

【事務局】進んだ例でいくと、別で掲載されている赤塚山公園では、民間の企業の力を使って、ぎょぎょランド前に、飲食施設兼休憩施設を整備したという事例があるのですが、既存の公共施設を利用するのか、民間の施設を利用した形もできるか

もしれないですが、今後の検討課題となっております。

【委員長】赤塚山公園では、ぎょぎょランド前において、飲食や休憩スペースとして利用できるスペースがあり、民間企業の方にサウンディングを行い、1社が手を挙げてくださったので整備されましたが、だんだんこのような流れが広まっています。

【委員】私どもの活動としては、この多岐にわたる中でも限られていますが、基本方針1の施策（1）の④のマッチング・コラボレーション促進と基本方針2の施策（1）の④の土産物開発と大葉を使った加工品の開発などとよかわブランドの活用、⑤の土産物等の販売促進について受託事業の中で行っております。また、基本方針4の施策（2）の①の東三河地域との連携についても力を入れて活動しております。なお、SNSで大葉などの情報を発信しておりますが、フォローしていただいたらフォローバックするようにしていきますので、多くの方に情報が広がっていくと思います。

【委員】資料5の観光入込客数についてですが、愛知県の観光レクリエーション利用者統計の数字となっているので市の統計ではないと思うのですが、インバウンドの数も含まれているのでしょうか。

【事務局】インバウンドの数も含まれています。

【委員】基本方針2の施策（3）の①外国人向けコンテンツの検討についての実施状況を見ますと、多言語観光誘致カードの作成とあり、カードのQRコードの利用実績からインバウンドの傾向を把握できるツールになるのではないかと思います。

【委員】QRコードを読み込んでいただくと、12言語が選択できるようになっていますが、データとして利用できるか確認してみます。

【委員】飯田線は「観光路線」として、自然と、それからいい意味で、本当に何もないといったところが、すごく魅力的な観光の要素となっていると思います。私もでできることがあれば、一緒に取り組んで参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員】市民意識調査の重要度については、観光に携わっている方は上がってくると思うんですけど、一般の市民の方の満足度から重要度へ置き換わる仕掛けはどのように考えていますか。

【事務局】なかなか難しいとは思いますが、おっしゃる通り直接かかわられている方はやはり重要度が高くなる傾向があると思うのですが、他の施策の中にもあるのですが、市民の方に、観光資源などの魅力を知ってもらって、市民から発信してもらうといった方法が、今後重要になってくると思います。SNS関係とかでも出

てくると思うんですけれども、直接観光に携わらない方でも一般の方にも、市の魅力をまず知ってもらい自らもその関係者であるというような、市民と一緒に発見しながら体験しながら PR していけるような、そんな仕組みというか、流れができてくるといいのかなというふうに思います。

【委員長】 以上で皆様にご意見を頂戴したところですが、他の方のご意見を聞いてもう少しお話をしたい方がいましたらご意見を頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】 赤塚山公園がとても評判が良くて、リニューアルされてからリピーターが多くなっていると感じています。ラグーナ蒲郡やのんほいパークのナイト ZOO が目的で宿泊される方も多いですが、コロナが終わってから自然の中で遊ぶ人が増えてきたと感じています。私の視点としては何か楽しみが加わると人気が出るのかなと思います。

【事務局】 資料 5 の施設別の観光入込客数推移をご覧くださいと、赤塚山公園は 2022 年は豊川稲荷について 2 番目となっております。市としても、その他の部門と話をしながら力を入れていかないといけないと思います。

【委員長】 皆様のご意見、ありがとうございました。